

Dell Latitude E5470

オーナーズマニュアル



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 Dell Inc. またはその子会社。無断転載を禁じます。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータ内部の作業	6
安全にお使いいただくために.....	6
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	6
コンピュータの電源を切る.....	7
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	7
キーボード ショートカット キーの機能.....	7
2 分解および再アセンブリ	9
推奨ツール.....	9
SIM (加入者識別モジュール) カード.....	9
SIM (加入者識別モジュール) カードの取り付け.....	9
SIM (加入者識別モジュール) カードの取り外し.....	9
ベースカバー.....	10
ベースカバーの取り外し.....	10
ベースカバーの取り付け.....	10
バッテリー.....	11
リチウム イオン バッテリーに関する注意事項.....	11
バッテリーの取り外し.....	11
バッテリーの取り付け.....	12
ハードドライブ.....	12
ハードドライブアセンブリの取り外し.....	12
ハードドライブアセンブリの取り付け.....	13
ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し.....	13
ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け.....	14
ソリッドステートドライブ - オプション.....	15
オプションの M.2 SSD (ソリッド ステート ドライブ) の取り外し.....	15
オプションの M.2 SSD の取り付け.....	15
オプションの PCIe SSD の取り外し.....	15
オプションの PCIe SSD の取り付け.....	16
メモリモジュール.....	16
メモリモジュールの取り外し.....	16
メモリモジュールの取り付け.....	17
WLAN カード.....	17
WLAN カードの取り外し.....	17
WLAN カードの取り付け.....	17
WWAN カード.....	18
WWAN カードの取り外し.....	18
WWAN カードの取り付け.....	18
ドック フレーム.....	18
ドックフレームの取り外し.....	18
ドックフレームの取り付け.....	19

タッチパッド.....	20
タッチパッドボタンの取り外し.....	20
タッチパッドボタンの取り付け.....	20
電源コネクタポート.....	21
電源コネクタポートの取り外し.....	21
電源コネクタポートの取り付け.....	21
キーボード.....	22
キーボードの取り外し.....	22
キーボードの取り付け.....	22
ディスプレイアセンブリ.....	23
ディスプレイアセンブリーの取り外し - 接触型.....	23
ディスプレイアセンブリーの取り付け - 接触型.....	24
ディスプレイヒンジ.....	24
ディスプレイヒンジの取り外し - 非接触型.....	24
ディスプレイヒンジの取り付け - 非接触型.....	25
スマートカードモジュール.....	25
オプションの SmartCard リーダーボードの取り外し.....	25
オプションの SmartCard リーダーボードの取り付け.....	26
指紋認証リーダー.....	26
オプションの指紋リーダーボードの取り外し.....	26
オプションの指紋リーダーボードの取り付け.....	27
LED ボード.....	27
LED ボードの取り外し.....	27
LED ボードの取り付け.....	28
ヒートシンク.....	28
ヒートシンクアセンブリーの取り外し.....	28
ヒートシンクアセンブリーの取り付け.....	29
スピーカー.....	29
スピーカーの取り外し.....	29
スピーカーの取り付け.....	30
システム基板.....	30
システム基板の取り外し.....	30
システム基板の取り付け.....	31
コイン型電池.....	31
コイン型電池の取り外し.....	31
コイン型電池の取り付け.....	32
パームレスト.....	33
パームレストの取り外し.....	33
パームレストの取り付け.....	33
3 セットアップユーティリティのオプション.....	35
起動順序.....	35
ナビゲーションキー.....	36
セットアップユーティリティの概要.....	36

セットアップユーティリティへのアクセス.....	36
一般的な画面オプション.....	36
システム設定画面のオプション.....	37
ビデオ画面オプション.....	40
セキュリティ画面オプション.....	40
安全起動画面のオプション.....	42
Intel Software Guard Extensions 画面オプション.....	42
パフォーマンス画面のオプション.....	43
電力管理画面のオプション.....	43
POST 動作画面のオプション.....	45
仮想化サポート画面のオプション.....	46
ワイヤレス画面オプション.....	46
メンテナンス画面のオプション.....	47
システムログ画面のオプション.....	47
Windows での BIOS のアップデート.....	47
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	48
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	48
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	49
4 技術仕様.....	50
システム仕様.....	50
プロセッサの仕様.....	51
メモリの仕様.....	51
ストレージの仕様.....	51
オーディオの仕様.....	51
ビデオの仕様.....	52
カメラの仕様.....	52
通信の仕様.....	52
ポートおよびコネクタの仕様.....	52
非接触型スマートカードの仕様.....	53
ディスプレイの仕様.....	53
キーボードの仕様.....	54
タッチパッドの仕様.....	54
バッテリーの仕様.....	54
AC アダプタの仕様.....	55
物理的仕様.....	55
環境仕様.....	56
5 診断.....	57
ePSA (強化された起動前システム アセスメント) 診断.....	57
デバイスステータスライト.....	58
バッテリーステータスライト.....	59
6 デルへのお問い合わせ.....	60

コンピュータ内部の作業

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に指示がない限り、本書に記されている各手順では、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピュータに同梱の安全に関する情報を読んでいること。
- 部品が交換可能であること。部品を別途購入している場合は、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

⚠ 警告: すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

⚠ 注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくはテレホンサービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属している安全にお使いいただくための注意をお読みになり、指示に従ってください。

⚠ 注意: 静電気放電を避けるため、静電気防止バンドを使用するか、またはコンピュータに触れる前に、塗装されていない金属面に定期的に触れることで静電気を身体から除去して、コンピュータの分解タスクを実行してください。

⚠ 注意: 部品とカードは慎重に取り扱ってください。カード上の部品や接触部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサなどの部品を持つときは、側面を持ち、ピンには触れないようにします。

⚠ 注意: ケーブルを外すときには、ケーブル自体を引っ張るのではなく、コネクタまたはプルタブを引くようにします。一部のケーブルのコネクタにはロックタブがついています。このタイプのケーブルは、外す前にロックタブを押して解除します。コネクタを引き離す場合は、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引いてください。また、ケーブルを接続する前には、両方のコネクタの向きと位置が正しいことを確認します。

① メモ: お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

- 1 「安全にお使いいただくための注意」を必ずお読みください。
- 2 コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
- 3 コンピュータの電源を切ります。

⚠ 注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

- 4 コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
- 5 コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
- 6 システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
- 7 カバーを取り外します。

△ **注意:** コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を逃がしてください。

△ **注意:** システムの過熱を防ぐため、冷却用の空気排出口があるシステムの側面は、必ず壁から 5 cm 以上離して配置してください。

△ **注意:** お使いのシステムは横にして置くことはできません。サイドカバーに他の装置を密接させないでください。

コンピュータの電源を切る

コンピュータ内部の作業を終えた後に

取り付け手順が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルが接続されていることを確認してください。

△ **注意:** コンピューターへの損傷を防ぐため、本製品専用のバッテリーのみを使用してください。他のデル製コンピューター用のバッテリーは使用しないでください。

- 1 バッテリーを取り付けます。
- 2 ベースカバーを取り付けます。
- 3 ポートレプリケータ、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
- 4 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。

△ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

- 5 コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
- 6 コンピュータの電源を入れます。

キーボード ショートカット キーの機能

次の表は、E3 シリーズのキーボードを使用したショートカット キーの機能の組み合わせのリストです。

表 1. キーボード ショートカット キー

キーの組み合わせ	83 キーのキーボード	104 キーのキーボード
<FN>+<F1>	スリープ/ハイバネーション モードを起動します。	
<FN>+<F2>	BIOS の [POST Behaviour] セクションでは、[Keypad(Embedded)] オプションはデフォルトで [Fn Key Only] オプションに設定されています。埋め込みの数字キーを使用するには、[By Numlock] に変更するか、<FN>+<F2> キーを押し続ける必要があります。	該当なし
<FN>+<F3>	スクロール ロックを有効または無効にします。	
<FN>+<F5>	タッチパッドおよび/またはタッチスティックを有効または無効にします。	
<FN>+<F7>	Dell Control Point を起動します。	
<FN>+<F8>	複数のディスプレイを有効または無効にします。オプションには、外部モニターへのクローン表示または拡張表示があります。または、現在のビューを外部モニターにのみ表示します。	
<FN>+<F10>	Windows Media Player でのファイルの再生時に、前のトラックに戻ります。	該当なし

キーの組み合わせ	83 キーのキーボード	104 キーのキーボード
<FN>+<F11>	Windows Media Player でファイルを再生または一時停止します。	該当なし
<FN>+<F12>	Windows Media Player でのファイルの再生時に、次のトラックに進みます。	該当なし
<FN>+ <End>	現在のデスクトップ画面を印刷します。	
<FN>+ <Insert>	「中断」を実行します。このキーはアプリケーションのプログラミングとデバッグに使用されます。ほとんどのプログラムでは機能がありません。	
<FN>+ <Up Arrow>	LCD の輝度を上げます。	
<FN>+ <Down Arrow>	LCD の輝度を下げます。	
<FN>+ <Right Arrow>	キーボードのバックライト照明を明るくしたり暗くしたりします。	
Windows ロゴ キーと <M>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。	
Windows ロゴ キーと <Shift>+<M>	すべてのウィンドウを最大化します。	
Windows ロゴ キーと <E>	Windows エクスプローラを実行します。	
Windows ロゴ キーと <R>	[Run] ダイアログ ボックスを開きます。	
Windows ロゴ キーと <F>	[Search Results] ダイアログ ボックスを開きます。	
Windows ロゴ キーと <FN>+<Pause>	[System Properties] ダイアログ ボックスを開きます。	
<FN>+<PrtScr>	ワイヤレスのオン/オフを切り替えます。	

分解および再アセンブリ

推奨ツール

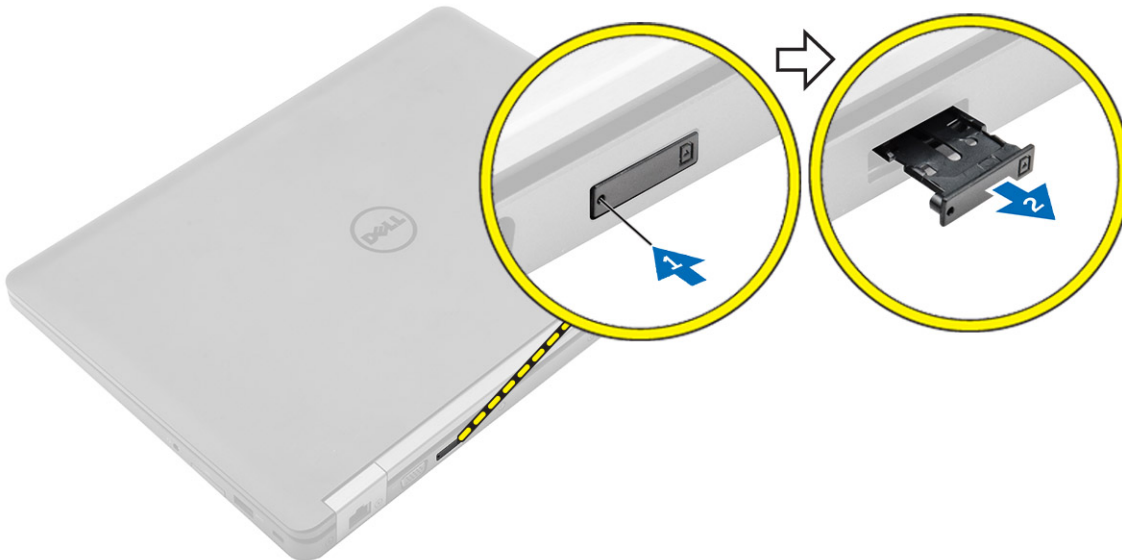
本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。

- #0 プラスドライバー
- #1 プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

SIM（加入者識別モジュール）カード

SIM（加入者識別モジュール）カードの取り付け

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 ペーパークリップまたは、SIM カードの取り外しツールをピンホールに差し込んで、SIM カードトレイを取り出します [1]。
- 3 SIM カードを SIM カードトレイにセットします [2]。
- 4 カチッと所定の位置に収まるまで、SIM カードトレイをスロットに押し込みます。



SIM（加入者識別モジュール）カードの取り外し

△ 注意: コンピューターの電源がオンになっているときに SIM カードを取り外すと、データ消失またはカード損傷の原因となる場合があります。お使いのコンピューターがオフになっているか、ネットワーク接続が無効になっていることを確認してください。

- 1 ペーパークリップまたは、SIM カードの取り外しツールを SIM カードトレイのピンホールに差し込みます。
- 2 SIM カードを SIM カードトレイから取り外します。

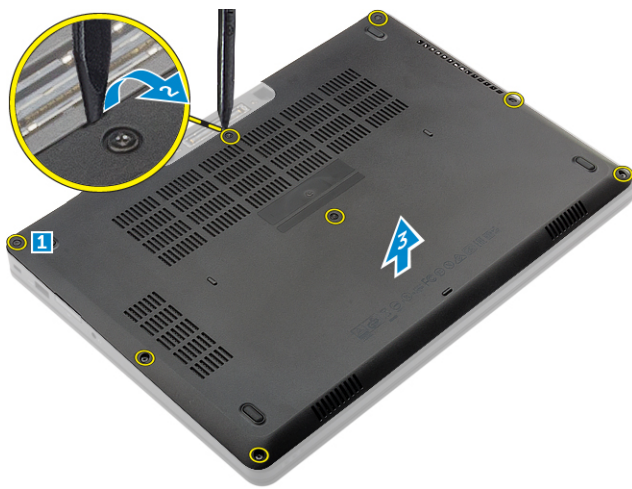
- 3 カチッと所定の位置に収まるまで SIM カードトレイをスロットに押し込みます。

ベースカバー

ベースカバーの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 ベースカバーを取り外すには、以下の手順を実行します。
 - a ベースカバーをコンピュータに固定しているネジを緩めます [1]。
 - b ベースカバーを端から持ち上げて、コンピュータから取り外します [2、3]。

① | **メモ:** ベースカバーを端から外す際に、プラスチックスクライブが必要な場合があります。



ベースカバーの取り付け

- 1 ベースカバーをコンピュータのネジホルダーに合わせます。
- 2 カチッと所定の位置に収まるまで、カバーの両端を押します。
- 3 ネジを締めてベースカバーをコンピュータに固定します。
- 4 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリー

リチウム イオン バッテリーに関する注意事項

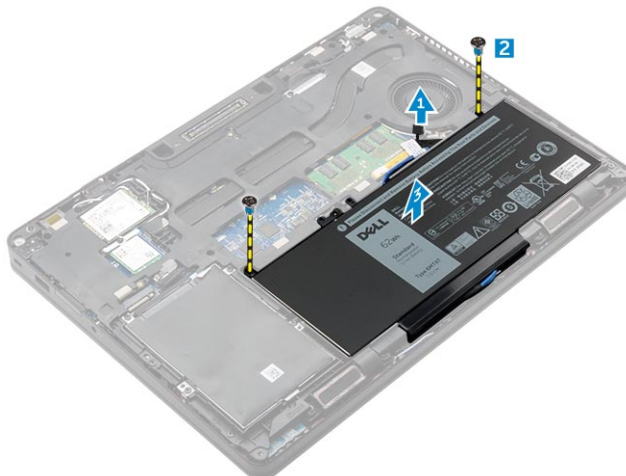
△ 注意:

- リチウム イオン バッテリーは注意して取り扱ってください。
- バッテリーをシステムから取り外す前に、バッテリーをできるだけ放電してください。システムから AC アダプタを取り外して、バッテリーを消耗させることで放電できます。
- バッテリーを強く押ししたり、落としたり、損傷させたり、異物で突き刺したりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックやセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。
- 工具を使用してバッテリーをこじ開けたりしないでください。
- バッテリーが膨張して、デバイスにはまり込んで動かなくなった場合、バッテリーを取り出そうとしないでください。リチウム イオン バッテリーに穴を開けたり、バッテリーを曲げたり、強く押ししたりすると危険です。そのような場合は、システム全体を交換する必要があります。サポートおよび詳細な手順については、<https://www.dell.com/support> までお問い合わせください。
- 必ず <https://www.dell.com> または Dell 認定パートナーから純正バッテリーを購入してください。

バッテリーの取り外し

① **メモ:** システムから取り外す前にバッテリーを可能な限り放電しておいてください。そのためには、(電源がオンの状態で) システムから A/C アダプタを取り外し、システムでバッテリーを放電できるようにします。

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 ベースカバーを取り外します。
- 3 バッテリーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
 - b バッテリーをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
 - c バッテリーを持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。
 - バッテリーの表面に圧力をかけないでください
 - 曲げないでください
 - バッテリーを持ち上げる際は、いかなる工具も使用しないでください
 - 上記の制約によりバッテリーを取り外せない場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせください



- 4 ケーブルの配線を配線チャンネルから外して [1]、ケーブルをバッテリーから取り外します [2]。



バッテリーの取り付け

① **メモ:** お使いのコンピュータが 6 セルバッテリーをサポートしている場合、ハードドライブはサポートされません。

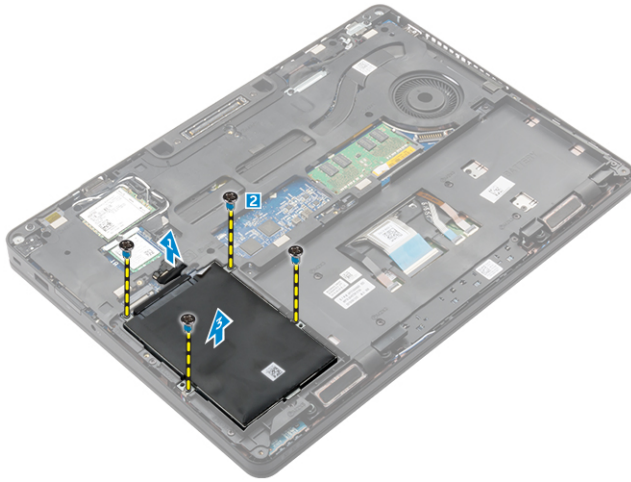
- 1 バッテリーケーブルをバッテリーのコネクタに接続します。
- 2 バッテリーケーブルをバッテリーの配線チャンネルを通して配線します。
- 3 バッテリーをコンピュータのスロットに挿入します。
- 4 バッテリーをコンピュータに固定するネジを締めます。
- 5 バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 6 ベースカバーを取り付けます。
- 7 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブ

ハードドライブアセンブリの取り外し

システムにハードドライブアセンブリが装備されている場合は、次の手順を実行します。

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 ハードドライブアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ハードドライブケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
 - b ハードドライブアセンブリをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
 - c ハードドライブアセンブリを持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。



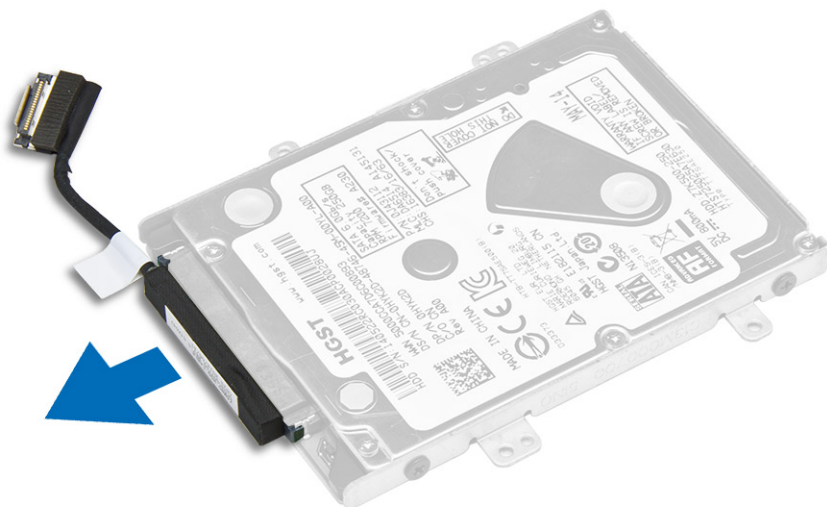
ハードドライブアセンブリの取り付け

システムにハードドライブアセンブリが装備されている場合は、次の手順を実行します。

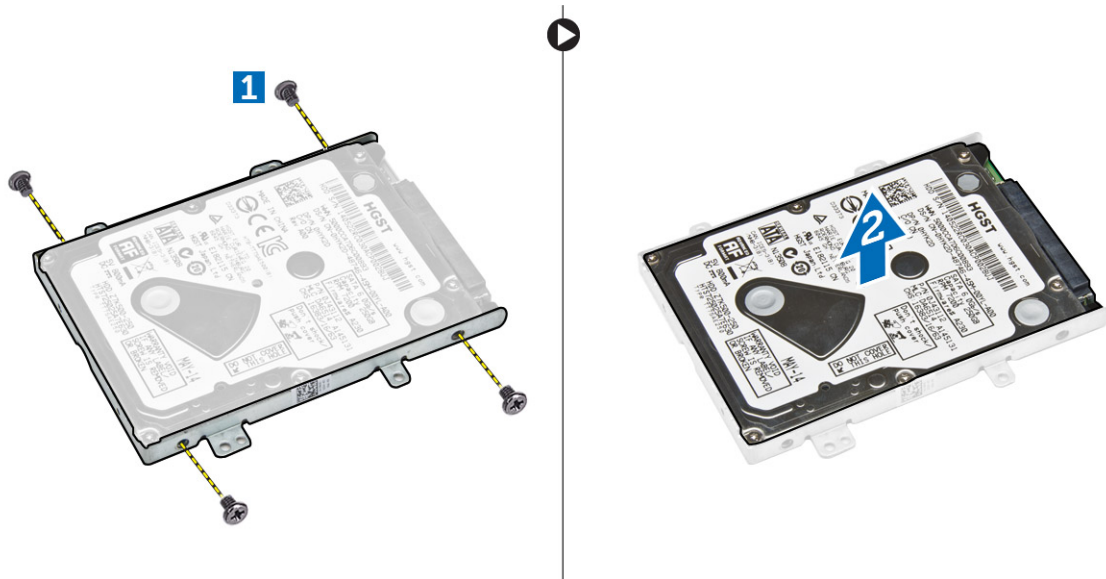
- 1 ハードドライブアセンブリをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 ネジを締めてハードドライブアセンブリをコンピュータに固定します。
- 3 ハードドライブケーブルをハードドライブとシステム基板のコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 5 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ
- 3 ハードドライブケーブルを引いてコネクタから外します。



- 4 ハードドライブブラケットをハードドライブに固定しているネジを外し [1]、ハードドライブを持ち上げてハードドライブブラケットから取り外します [2]。



ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け

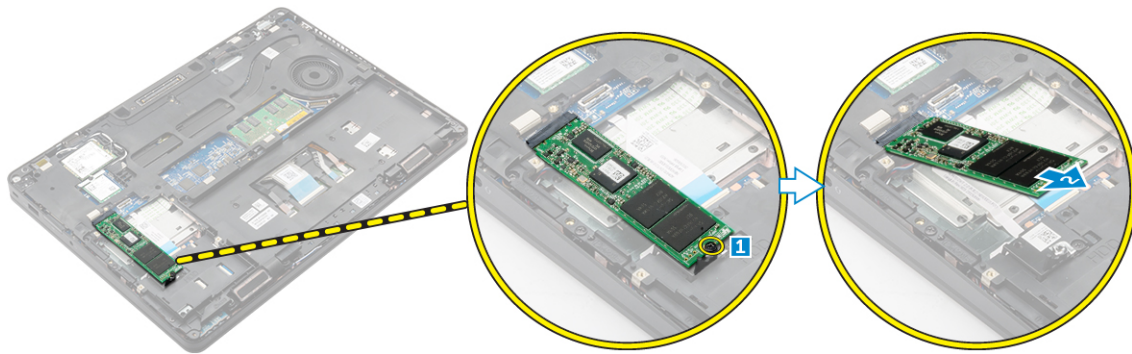
- 1 ハードドライブのネジ穴をハードドライブブラケットのネジに合わせます。
- 2 ハードドライブをハードドライブブラケットに挿入します。
- 3 ネジを締めてハードドライブをハードドライブブラケットに固定します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ハードドライブアセンブリ
 - b バッテリー
 - c ベースカバー
- 5 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステートドライブ - オプション

オプションの M.2 SSD (ソリッドステートドライブ) の取り外し

システムに M.2 SSD が装備されている場合は、次の手順を実行します。

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 SSD を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a SSD をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b SSD をスライドさせて持ち上げ、コンピュータから取り外します [2]。



オプションの M.2 SSD の取り付け

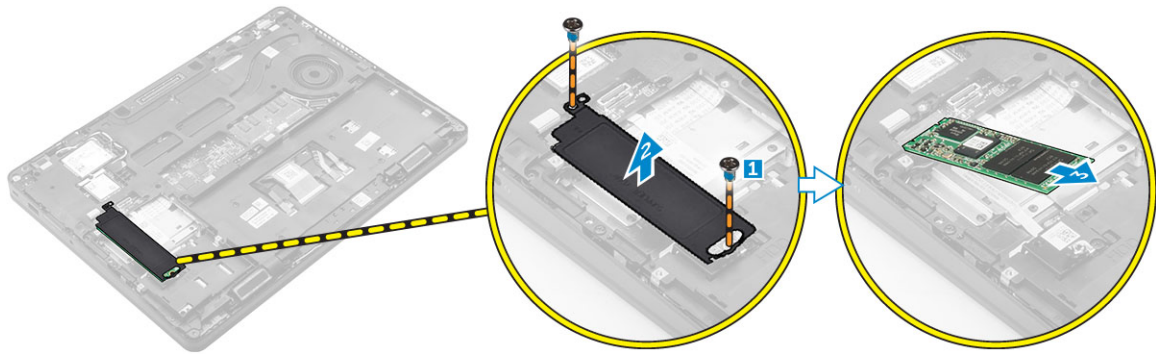
システムに M.2 SSD が装備されている場合は、次の手順を実行します。

- 1 SSD をコンピュータのコネクタに差し込みます。
- 2 ネジを締めて SSD をコンピュータに固定します。
- 3 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 4 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

オプションの PCIe SSD の取り外し

システムに PCIe SSD が装備されている場合は、次の手順を実行します。

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 PCIe SSD を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a SSD ブラケットを SSD に固定しているネジを外します [1]。
 - b SSD ブラケットを取り外します [2]。
 - c SSD をコンピュータから取り外します [3]。



オプションの PCIe SSD の取り付け

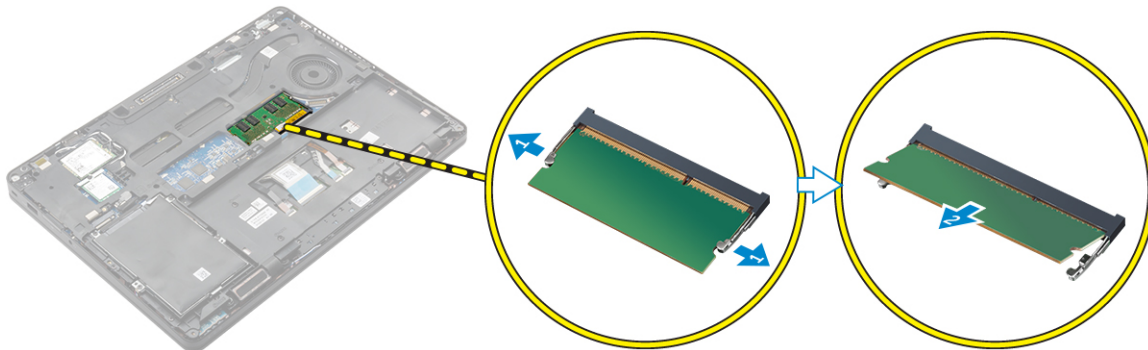
システムに PCIe SSD が装備されている場合は、次の手順を実行します。

- 1 SSD クリップをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 ネジを締めて SSD クリップをコンピュータに固定します。
- 3 SSD をコンピュータのコネクタに差し込みます。
- 4 SSD ブラケットを SSD 上にセットして、ネジを締めてコンピュータに固定します。
- 5 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 6 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリモジュール

メモリモジュールの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 メモリモジュールが持ち上がるまでメモリモジュールを固定しているクリップを引きます [1]。
- 4 メモリモジュールをシステム基板から取り外します [2]。



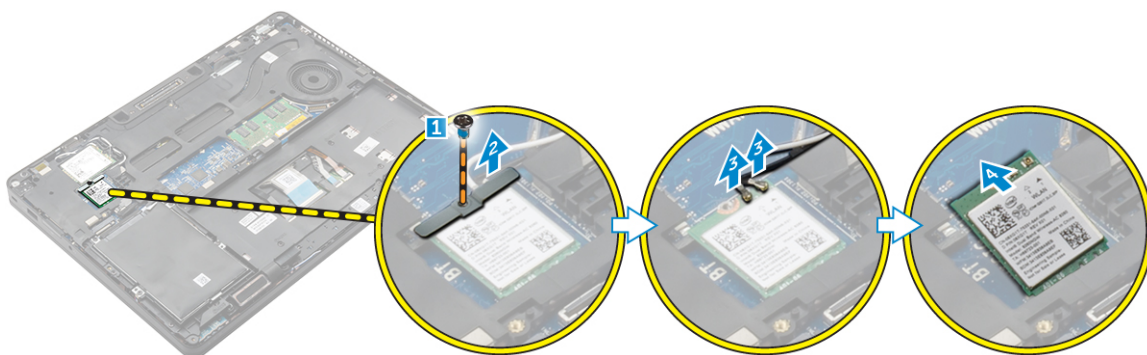
メモリモジュールの取り付け

- 1 クリップでメモリモジュールが固定されるまで、メモリモジュールをメモリモジュールソケットに差し込みます。
- 2 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 3 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

WLAN カード

WLAN カードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 WLAN カードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a 金属製ブラケットを WLAN カードに固定しているネジを外します [1]。
 - b 金属製ブラケットを取り外します [2]。
 - c WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタから外します [3]。
 - d WLAN ケーブルを配線チャンネルから外します。
 - e WLAN カードをコンピュータから取り外します [4]。



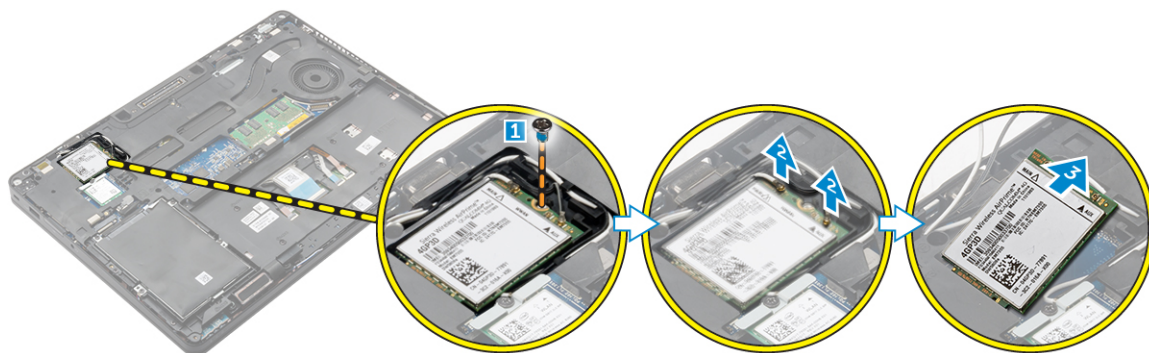
WLAN カードの取り付け

- 1 WLAN カードをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 WLAN ケーブルを配線チャンネルを通して配線します。
- 3 WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタに接続します。
- 4 金属製ブラケットをセットして、ネジを締めコンピュータに固定します。
- 5 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 6 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

WWAN カード

WWAN カードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 WWAN カードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a WWAN カードを固定しているネジを外します [1]。
 - b WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタから外します [2]。
 - c WWAN ケーブルの配線を配線チャンネルから外します。
 - d WWAN カードをコンピュータから取り外します [3]。



WWAN カードの取り付け

- 1 WWAN カードをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 WWAN ケーブルを配線チャンネルを通して配線します。
- 3 WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタに接続します。
- 4 ネジを締めて WWAN カードをコンピュータに固定します。
- 5 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 6 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドック フレーム

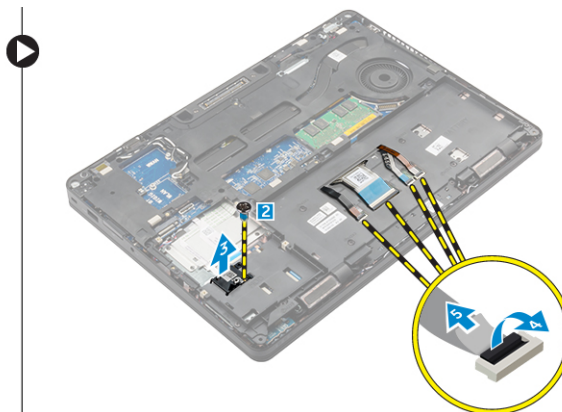
ドックフレームの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD

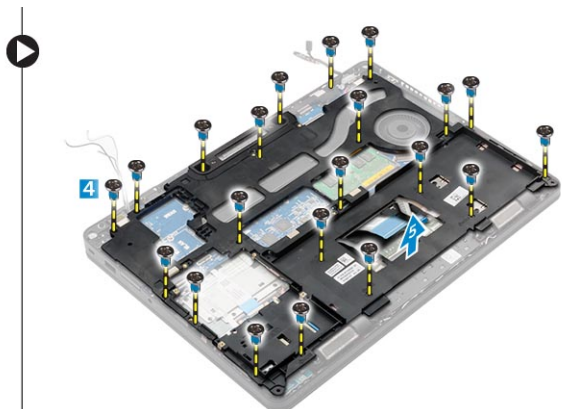
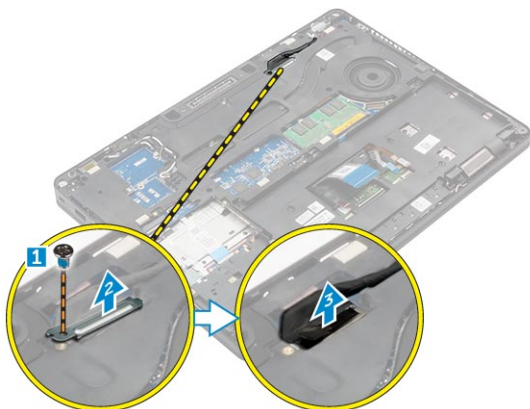
- d WLAN カード
 - e WWAN カード
- 3 ドックフレームコネクタを取り外すには、次の手順を実行します。
- a ドックフレームをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b ネジを外して SSD プレートをコンピュータから持ち上げます [2、3]。

① | **メモ:** 手順 3b は、PCIe SSD カードが取り外されている場合のみ必要です。

- c キーボードケーブルを外します [4、5]。



- 4 ドックフレームを取り外すには、次の手順を実行します。
- a ネジを外して金属製ブラケットを持ち上げます [1、2]。
 - b eDP ケーブルを外します [3]。
 - c ドックフレームをコンピュータに固定しているネジを外します [4]。
 - d ドックフレームを持ち上げてコンピュータから取り外します [5]。



ドックフレームの取り付け

- 1 ドックフレームをコンピュータにセットし、ネジを締めます。
- 2 eDP ケーブルを接続します。
- 3 金属製ブラケットをセットしてネジを締めます。
- 4 キーボードケーブルを接続します。
- 5 SSD プレートを設定し、ネジを締めて固定します。

① | **メモ:** 手順 5 は、PCIe SSD カードが取り外されている場合のみ必要です。

- 6 ネジを締めてドックフレームをコンピュータに固定します。
- 7 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a WWAN カード

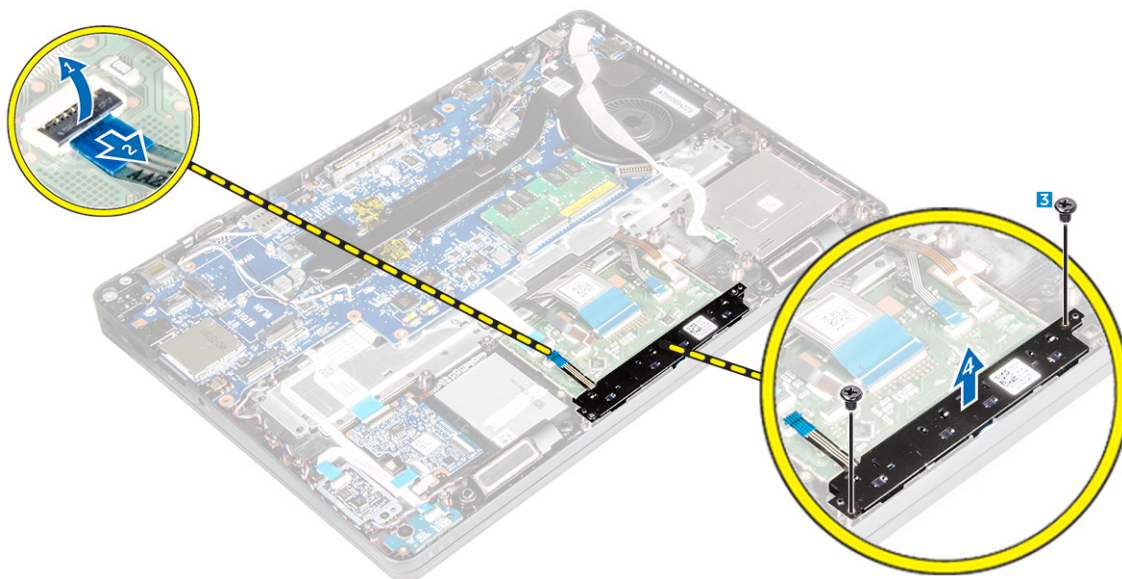
- b WLAN カード
- c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
- d バッテリー
- e ベースカバー

8 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

タッチパッド

タッチパッドボタンの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ドックフレーム
- 3 タッチパッドボタンを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ラッチを持ち上げて、タッチパッドボタンケーブルをコネクタから外します [1][2]。
 - b タッチパッドボタンを固定しているネジを外します [3]。
 - c タッチパッドボタンを持ち上げて、コンピュータから取り外します [4]。



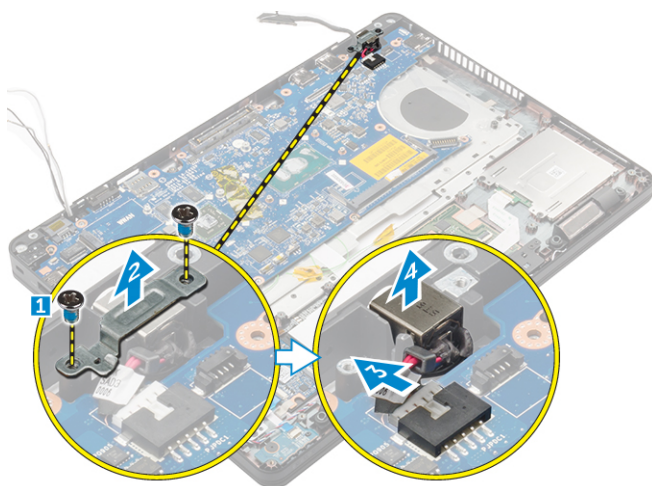
タッチパッドボタンの取り付け

- 1 タッチパッドボタンをシステム基板のスロットにセットします。
- 2 ネジを締めてタッチパッドボタンをシステム基板に固定します。
- 3 タッチパッドボタンケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b バッテリー
 - c ベースカバー
- 5 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源コネクタポート

電源コネクタポートの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ドックフレーム
- 3 電源コネクタポートを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ネを外して、電源コネクタポートの金属ブラケットを外します [1]。
 - b 金属ブラケットをコンピュータから持ち上げます [2]。
 - c 電源コネクタポートケーブルをコンピュータから外します [3]。
 - d 電源コネクタポートをコンピュータから取り外します [4]。



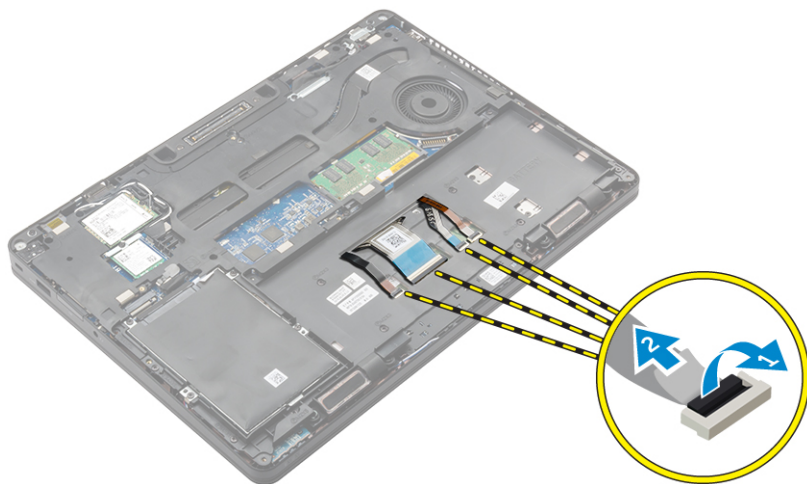
電源コネクタポートの取り付け

- 1 電源コネクタポートをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 金属製ブラケットを電源コネクタポートにセットします。
- 3 ネジを締めて、電源コネクタポートをコンピュータに固定します。
- 4 電源コネクタポートケーブルを配線チャンネルに通して配線します。
- 5 電源コネクタポートケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 6 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b バッテリー
 - c ベースカバー
- 7 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボード

キーボードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
- 3 キーボードケーブルをタッチパッドボードのコネクタから外します [1、2]。

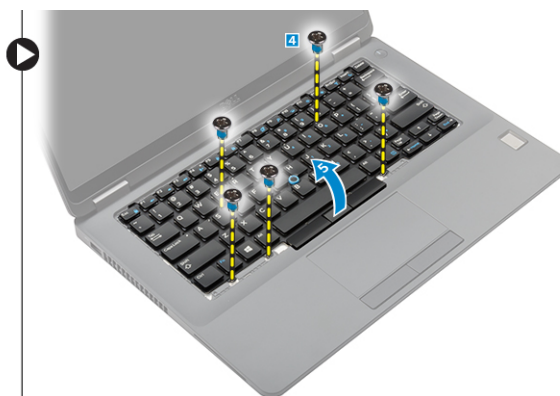


① | **メモ:** キーボードケーブルの数は、コンピュータの構成に応じて異なる場合があります。

- 4 キーボードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a プラスチックスクライブを使用して、キーボードトリムを端から持ち上げ、キーボードから外します [1、2、3]。
 - b キーボードをコンピュータに固定しているネジを外します [4]。

① | **メモ:** キーボードの損傷を避けるため、慎重にキーボードをコンピュータから取り外します。

- c キーボードをコンピュータから持ち上げます [5]。



キーボードの取り付け

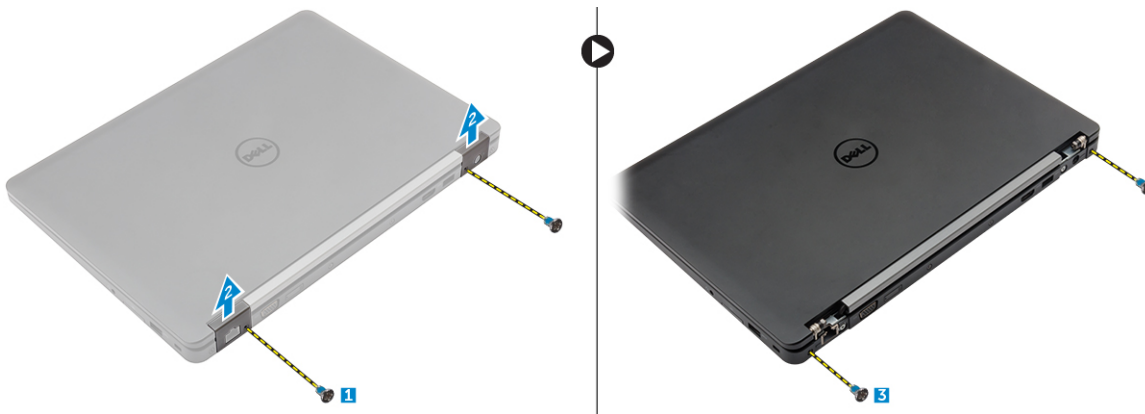
- 1 キーボードをコンピュータのネジホルダーに合わせます。
- 2 ネジを締めてキーボードをコンピュータに固定します。

- 3 キーボードトリムをコンピュータのタブに合わせ、カチッと所定の位置に収まるまで押し込みます。
- 4 キーボードケーブルをタッチパッドボードのコネクタに接続します。
① **メモ:** ドックフレームを取り外している場合は、ドックフレームを取り付けてからキーボードケーブルを接続します。
- 5 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a バッテリー
 - b ベースカバー
- 6 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

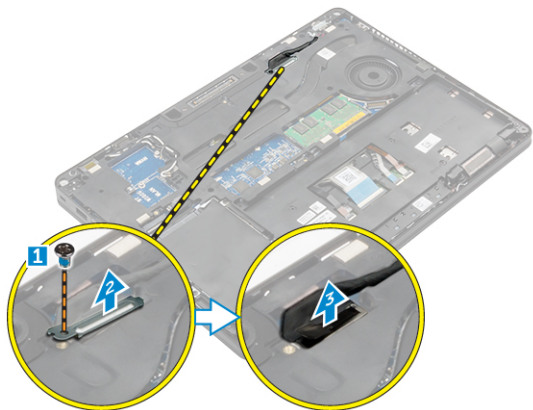
ディスプレイアセンブリ

ディスプレイ アセンブリの取り外し - 接触型

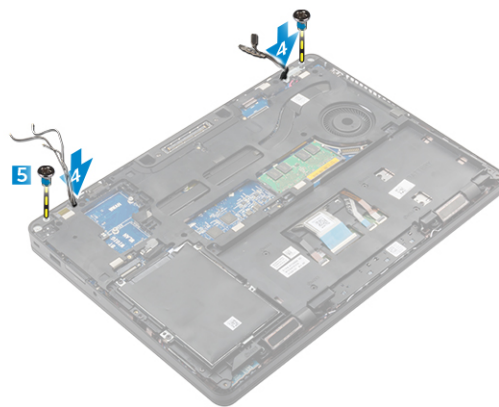
- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c WLAN
 - d WWAN
- 3 ディスプレイヒンジブラケットを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ディスプレイヒンジブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b ディスプレイヒンジブラケットをコンピュータから取り外します [2]。
 - c ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定しているネジを取り外します [3]。



- 4 ディスプレイケーブルを外してディスプレイアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ディスプレイケーブルブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b ディスプレイケーブルブラケットを取り外し、ディスプレイケーブルを取り出せるようにします [2]。
 - c ディスプレイケーブルをシステム基板から外します [3]。
 - d アンテナケーブルとディスプレイケーブルを配線チャネルから外します [4]。
 - e ディスプレイアセンブリを固定しているネジを外します [5]。



f コンピュータを裏返してディスプレイを開き、ディスプレイアセンブリを持ち上げてコンピュータから取り外します [1] [2]。



ディスプレイ アセンブリの取り付け - 接触型

- 1 ディスプレイアセンブリをセットして、コンピュータのネジホルダーに合わせます。
- 2 ネジを締めて、ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定します。
- 3 ディスプレイケーブルを配線チャンネルを通して配線し、アンテナケーブルを穴を通して配線します。
- 4 アンテナケーブルとディスプレイケーブルをコネクタに接続します。
- 5 ディスプレイケーブルブラケットをコネクタ上にセットし、ネジを締めてディスプレイケーブルをコンピュータに固定します。
- 6 ディスプレイヒンジブラケットをセットし、ネジを締めてコンピュータに固定します。
- 7 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a WLAN
 - b WWAN
 - c バッテリー
 - d ベースカバー
- 8 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

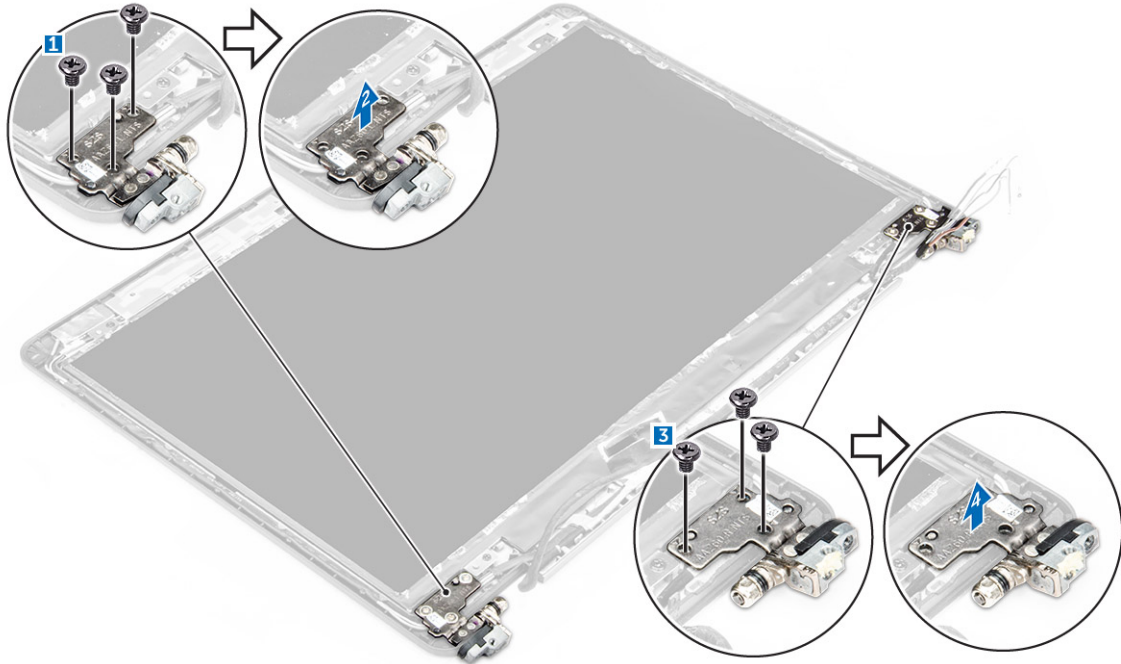
ディスプレイヒンジ

ディスプレイ ヒンジの取り外し - 非接触型

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。

- a ベースカバー
- b バッテリー
- c WLAN
- d WWAN

- 3 ディスプレイヒンジを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a ディスプレイヒンジをディスプレイアセンブリに固定しているネジを外します [1、3]。
 - b ディスプレイヒンジを取り外します [2、4]。



① **メモ:** 画像は参照用であり、実際のシステム ヒンジの位置は異なる場合があります。

ディスプレイ ヒンジの取り付け - 非接触型

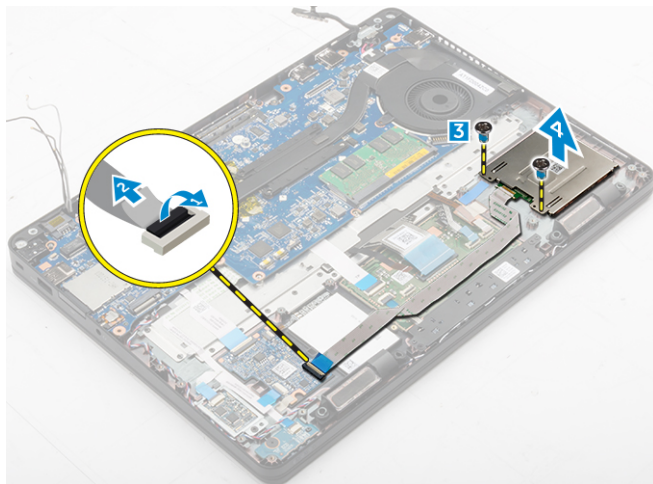
- 1 ディスプレイヒンジをディスプレイアセンブリのネジホルダーに合わせます。
- 2 ネジを締めてディスプレイヒンジをディスプレイアセンブリに固定します。
- 3 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a WLAN
 - b WWAN
 - c バッテリー
 - d ベースカバー
- 4 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スマートカードモジュール

オプションの SmartCard リーダーボードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー

- c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - d WLAN カード
 - e WWAN カード
 - f ドックフレーム
- 3 SmartCard リーダーボードを取り外すには、次の手順を実行します。
- a SmartCard リーダーボードケーブルを USH ボードから外します [1、2]。
 - b ケーブルをはがし、接着面から外します。
 - c SmartCard リーダーボードをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
 - d SmartCard リーダーボードを持ち上げて、コンピュータから取り外します [4]。



オプションの SmartCard リーダーボードの取り付け

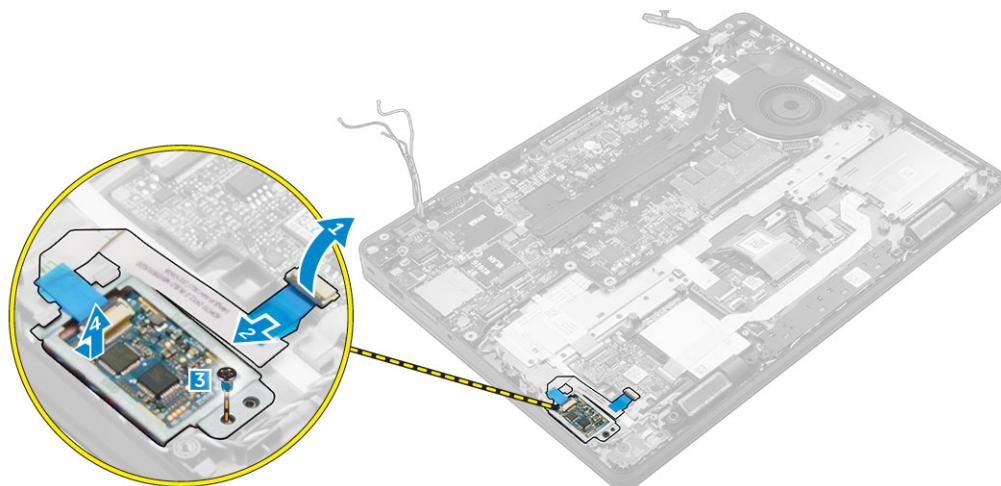
- 1 SmartCard リーダーボードをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 ネジを締めて SmartCard リーダーボードをコンピュータに固定します。
- 3 SmartCard リーダーケーブルを USH ボードのコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b WWAN カード
 - c WLAN カード
 - d ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - e バッテリー
 - f ベースカバー
- 5 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

指紋認証リーダー

オプションの指紋リーダーボードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - d WLAN カード

- e WWAN カード
 - f ドックフレーム
- 3 指紋リーダーボードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a 指紋リーダーケーブルを指紋リーダーボードから外します [1, 2]。
 - b 指紋リーダーボードをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
 - c 指紋リーダーボードを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。



オプションの指紋リーダーボードの取り付け

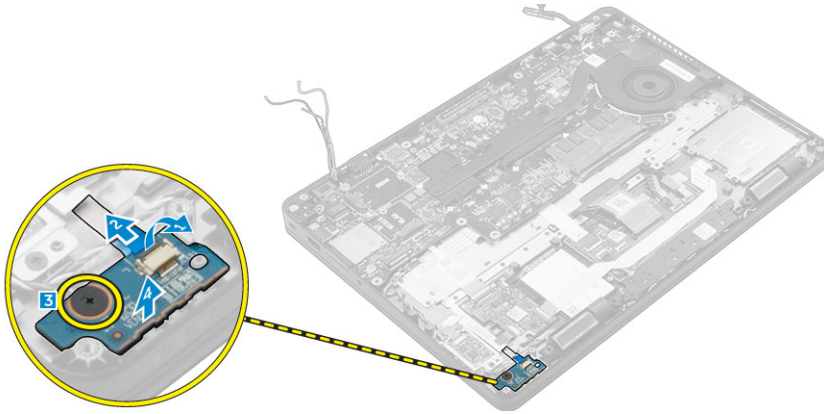
- 1 指紋リーダーボードをコンピュータのスロットに挿入します。
- 2 指紋リーダーケーブルを指紋リーダーボードに接続します。
- 3 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - b ドックフレーム
 - c WLAN カード
 - d WWAN カード
 - e バッテリー
 - f ベースカバー
- 4 「システム内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

LED ボード

LED ボードの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - d WLAN カード
 - e WWAN カード
 - f ドックフレーム
- 3 LED ボードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a LED ボードケーブルを LED ボードのコネクタから外します [1, 2]。

- b LED ボードをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
- c LED ボードを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。



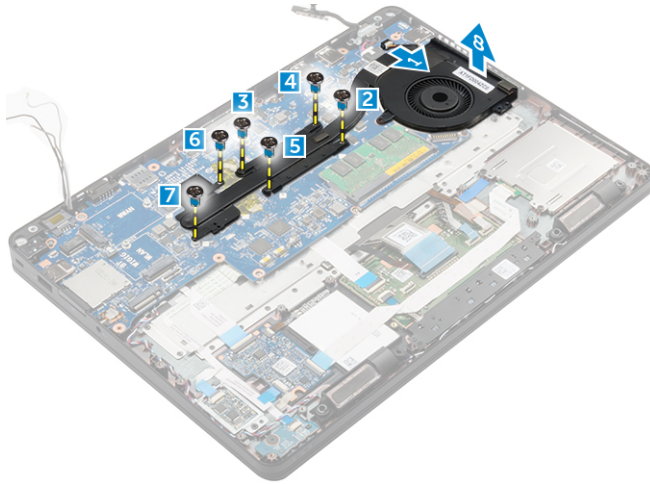
LED ボードの取り付け

- 1 LED ボードをコンピュータのスロットに差し込みます。
- 2 LED ボードをコンピュータに固定するネジを締めます。
- 3 LED ボードケーブルを LED ボードのコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b WWAN カード
 - c WLAN カード
 - d ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - e バッテリー
 - f ベースカバー
- 5 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンク

ヒートシンクアセンブリの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - d WLAN
 - e WWAN
 - f ドックフレーム
- 3 ヒートシンクを取り外すには、次の手順を行います。
 - a ファンケーブルを外します [1]。
 - b ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定するネジを外します [2、3、4、5、6、7]。
 - c ヒートシンクアセンブリを持ち上げてシステム基板から取り外します [8]。



① **メモ:** ネジの数は、コンピュータの構成に応じて異なる場合があります。

ヒートシンクアセンブリの取り付け

- 1 ヒートシンクアセンブリをシステム基板にセットして、ネジホルダーに合わせます。
- 2 ネジを締めてヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定します。
- 3 ファンケーブルをシステム基板上のコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b WWAN
 - c WLAN
 - d ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - e バッテリー
 - f ベースカバー
- 5 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

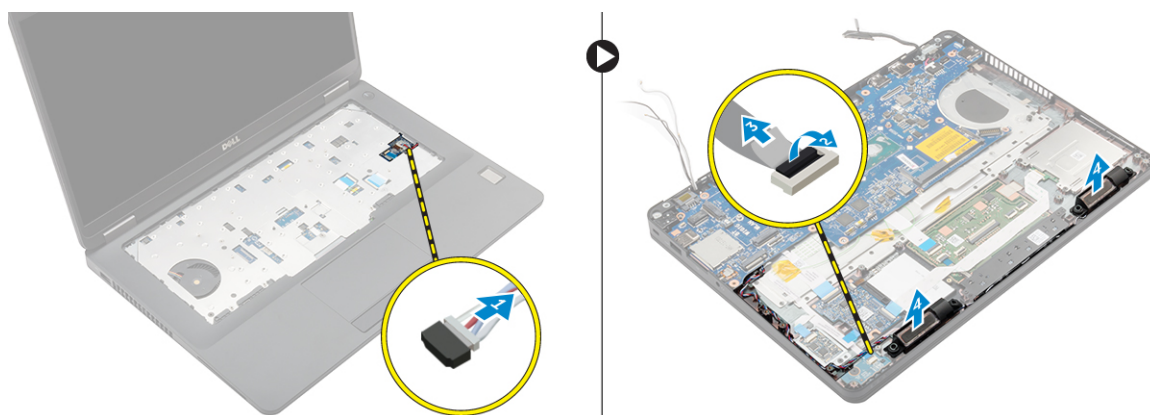
スピーカー

スピーカーの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c メモリモジュール
 - d ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - e WLAN
 - f WWAN
 - g ドックフレーム
- 3 スピーカーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a スピーカーケーブルを外します [1]。
 - b LED ボードケーブル [2、3] を LED ボードから外します。

① **メモ:** この手順は、スピーカーケーブルが LED ボードケーブルの下に配線されている場合にのみ該当します。

- c ケーブルの配線をコンピュータの固定クリップから外します [2]。
- d スピーカーを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。



スピーカーの取り付け

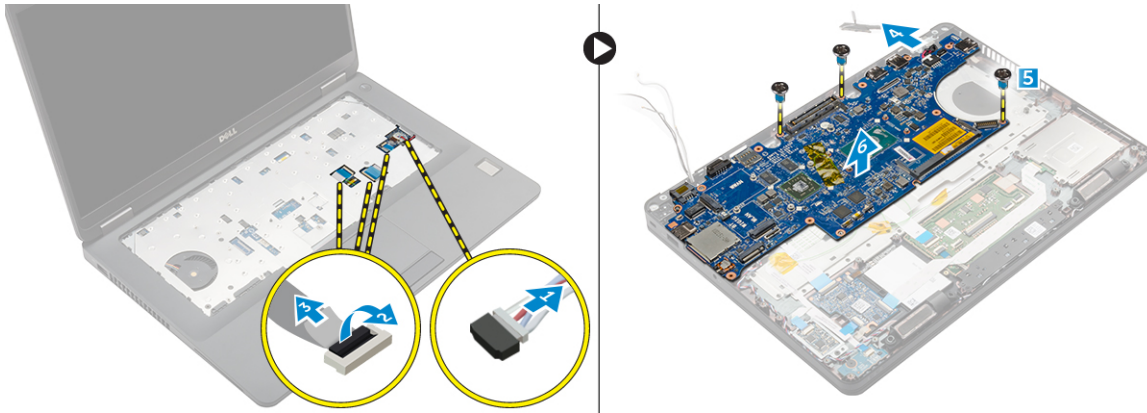
- 1 スピーカーをコンピュータのスロットにセットします。
- 2 スピーカーケーブルを固定クリップと配線チャンネルを通して配線します。
- 3 スピーカーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 4 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a ドックフレーム
 - b WLAN
 - c WWAN
 - d ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - e バッテリー
 - f ベースカバー
- 5 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板

システム基板の取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a SIM カード
 - b ベースカバー
 - c バッテリー
 - d メモリ
 - e ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - f キーボード
 - g WLAN
 - h WWAN
 - i ドックフレーム
 - j ヒートシンクアセンブリ
 - k 電源コネクタポート
- 3 SIM カードトレイをコンピュータから取り外します。
- 4 システム基板を取り外すには、次の手順を実行します。

- a ラッチを持ち上げて、スピーカーケーブル、タッチパッドケーブル、システム基板ケーブルをコンピュータから外します [1、2、3]。
- b 電源コネクタポートケーブルをシステム基板から外します [4]。
- c システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します [5]。
- d システム基板をコンピュータから持ち上げます [6]。



システム基板の取り付け

- 1 システム基板をコンピュータのネジホルダに合わせます。
- 2 ネジを締めてシステム基板をコンピュータに固定します。
- 3 スピーカーケーブルをシステムのコネクタに接続し、ケーブルを配線チャンネルに沿って配線します。
- 4 電源コネクタケーブルとコイン型電池ケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 5 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a 電源コネクタポート
 - b ドックフレーム
 - c WLAN
 - d ヒートシンクアセンブリ
 - e WWAN
 - f ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - g キーボード
 - h メモリモジュール
 - i バッテリー
 - j ベースカバー
 - k SIM カード
- 6 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

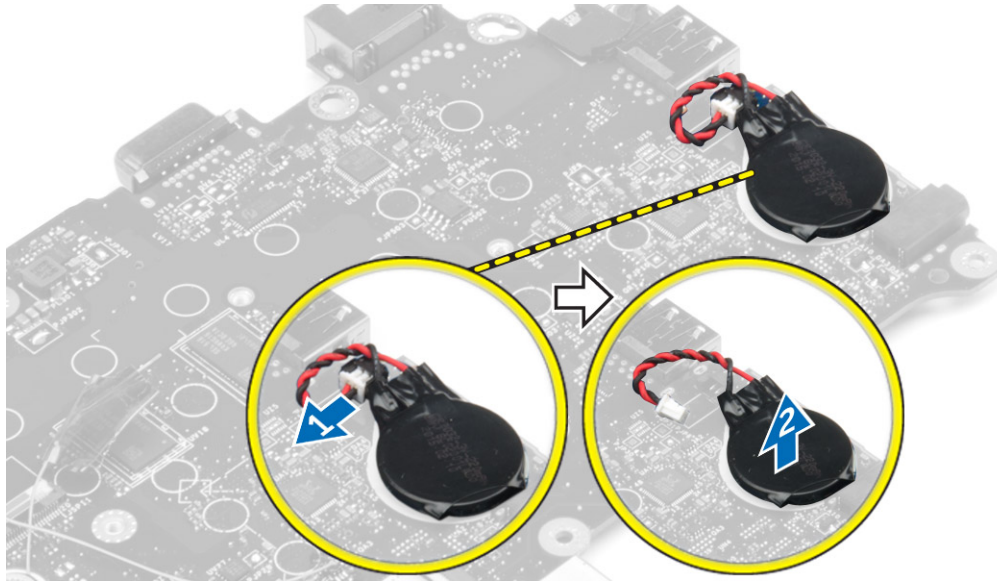
コイン型電池

コイン型電池の取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a ベースカバー
 - b バッテリー
 - c ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - d ドックフレーム
 - e メモリ

- f ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
- g キーボード
- h WLAN
- i WWAN
- j ドックフレーム
- k ヒートシンクアセンブリ
- l 電源コネクタポート

- 3 コイン型電池を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a コイン型電池ケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
 - b コイン型電池を持ち上げ、接着面から外してシステム基板から取り外します [2]。



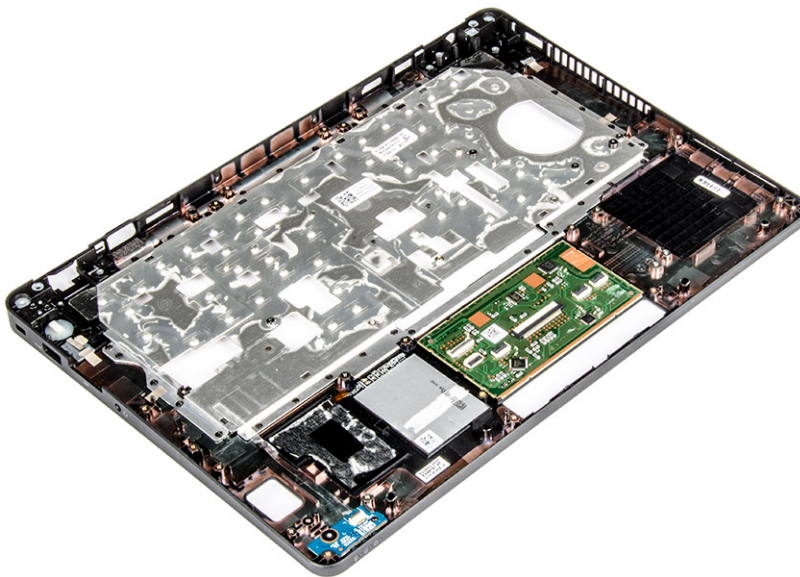
コイン型電池の取り付け

- 1 コイン型電池をシステム基板のスロットにセットします。
- 2 コイン型電池ケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
- 3 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a 電源コネクタポート
 - b WLAN
 - c ヒートシンクアセンブリ
 - d WWAN
 - e ドックフレーム
 - f ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - g キーボード
 - h メモリモジュール
 - i ドックフレーム
 - j ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - k バッテリー
 - l ベースカバー
- 4 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

パームレスト

パームレストの取り外し

- 1 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
- 2 次のコンポーネントを取り外します。
 - a SIM
 - b ベースカバー
 - c バッテリー
 - d メモリ
 - e ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD
 - f キーボード
 - g WLAN
 - h WWAN
 - i ドックフレーム
 - j ヒートシンクアセンブリ
 - k 電源コネクタポート
 - l システム基板
- 3 すべてのコンポーネントを取り外すと、パームレストが残ります。



パームレストの取り付け

- 1 コンピュータのパームレストを揃えます。
- 2 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a システム基板
 - b 電源コネクタポート
 - c ドックフレーム
 - d WLAN
 - e ヒートシンクアセンブリ
 - f WWAN
 - g ハードドライブアセンブリ、M.2 SSD、PCIe SSD

- h キーボード
- i メモリモジュール
- j バッテリー
- k ベースカバー
- l SIM

3 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

セットアップユーティリティのオプション

① | **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

トピック：

- 起動順序
- ナビゲーションキー
- セットアップユーティリティの概要
- セットアップユーティリティへのアクセス
- 一般的な画面オプション
- システム設定画面のオプション
- ビデオ画面オプション
- セキュリティ画面オプション
- 安全起動画面のオプション
- Intel Software Guard Extensions 画面オプション
- パフォーマンス画面のオプション
- 電力管理画面のオプション
- POST 動作画面のオプション
- 仮想化サポート画面のオプション
- ワイヤレス画面オプション
- メンテナンス画面のオプション
- システムログ画面のオプション
- Windows での BIOS のアップデート
- システムパスワードおよびセットアップパスワード

起動順序

起動順序を利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：オプティカルドライブまたはハードドライブ）から直接起動することができます。パワーオンセルフテスト（POST）中にデルのロゴが表示されたら、以下の操作が可能です。

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ

① | **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。

- オプティカルドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハードドライブ（利用可能な場合）
- 診断

① | **メモ:** Diagnostics（診断）を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

① **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
Tab	次のフォーカス対象領域に移動します。
	① メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- お使いのコンピュータのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でシステムの構成情報を変更する。
- ユーザーパスワードなど、ユーザーが選択できるオプションを設定または変更する。
- 現在のメモリの容量を読み取る、または取り付けてあるハードドライブのタイプを設定する。

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

△ **注意:** 上級コンピュータユーザーでなければ、このプログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

セットアップユーティリティへのアクセス

- 1 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 2 白い Dell のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
セットアップユーティリティページが表示されます。

① **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまで待機します。その後、コンピュータをシャットダウンするか再起動して、操作をやり直してください。

① **メモ:** Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、BIOS セットアップを選択することもできます。

一般的な画面オプション

このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。

オプション	説明
システム情報	<ul style="list-style-type: none">• System Information (システム情報): BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。

オプション

説明

- Memory Information (メモリ情報): Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。
- Processor Information (プロセッサ情報): Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。
- Device Information (デバイス情報): Primary Hard Drive (プライマリハードドライブ)、SATA-0、M.2PCIe SSD-0、Dock eSATA Device (eSATA ドッキングデバイス)、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、WiFi Device (Wi-Fi デバイス)、WiGig Device (WiGig デバイス)、Cellular Device (携帯電話デバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。

バッテリー情報

バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプターの種類を表示します。

Boot Sequence

- Boot Sequence** コンピュータがオペレーティングシステムを認識する順序を変更することができます。オプションは次の通りです。
- Windows Boot Manager
 - UEFI: ハードドライブの詳細
- Boot List Options** 起動リストオプションを変更することができます。
- Legacy (レガシー)
 - UEFI (デフォルトで有効)

Advanced Boot Options

このオプションでは、レガシーオプション ROM をロードできます。**Enable Legacy Option ROM (レガシーオプション ROM を有効にする)** はデフォルト無効に設定されています。

Date/Time

日付と時刻を変更することができます。

システム設定画面のオプション

オプション

説明

Integrated NIC

内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです。

- 無効
- 有効
- Enabled w/PXE (PXE 付で有効): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

Parallel Port

ドッキングステーションの平行ポートを設定することができます。オプションは次のとおりです。

- 無効
- AT: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- PS2
- ECP

Serial Port

内蔵シリアルポートを設定することができます。オプションは次のとおりです。

- 無効
- COM1: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

オプション

説明

- COM2
- COM3
- COM4

SATA Operation

内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです。

- 無効
- AHCI
- RAID On (RAID オン) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

ドライブ

オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは次のとおりです。

- SATA-0
- SATA-1
- SATA-2
- M.2 PCIe SSD-0

SMART Reporting

このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

- Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)

USB Configuration

このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリキー、フロッピー) から起動することができます。

USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。

USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。

オプションは次のとおりです。

- Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

USB/Thunderbolt Configuration

これはオプションの機能です。



このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリキー、フロッピー) から起動することができます。

USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。

USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。

オプションは次のとおりです。

- Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- Enable Thunderbolt Port (Thunderbolt ポートを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- Thunderbolt 起動サポートを有効にします。これはオプションの機能です。
- 常に Dell をドッキングできます。これはオプションの機能です。
- Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする)

オプション	説明
	<p> メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
USB PowerShare	<p>このフィールドでは、USB PowerShare 機能の動作を設定できます。このオプションでは、USB PowerShare ポートから保存されているシステムバッテリー電源を使用して外部デバイスを充電することができます。</p>
オーディオ	<p>このフィールドでは、内蔵オーディオコントローラを有効または無効に設定します。デフォルトでは Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションが選択されています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Microphone (マイクを有効にする): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Keyboard Illumination	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを選択できます。キーボードの輝度レベルは 0 ~ 100% の間で設定できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Dim (暗い) • Bright (明るい): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Keyboard Backlight with AC	<p>AC 電源のキーボードバックライトオプションは、メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合のみ影響があります。</p>
Keyboard Backlight Timeout on AC	<p>この機能は、AC アダプタがシステムに接続されているときに、キーボードバックライトのタイムアウト値を定義します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5 秒: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • 10 秒 • 15 秒 • 30 秒 • 1 分間 • 5 分 • 15 分 • なし
Keyboard Backlight Timeout on Battery	<p>この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行しているときに、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5 秒: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • 10 秒 • 15 秒 • 30 秒 • 1 分間 • 5 分 • 15 分 • なし
Touchscreen	<p>このオプションでタッチスクリーンを有効または無効に制御できます。</p> <p> メモ: タッチスクリーンオプションは、コンピュータがタッチスクリーンバージョンの場合にのみ使用できます。</p>
Unobtrusive Mode	<p>このオプションが有効になっている場合、Fn+F7 を押すと、システム内のすべてのライトとサウンドエミッションがオフになります。通常の操作を再開するには、Fn+F7 を再度押します。このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>

オプション	説明
Miscellaneous Devices	<p>次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Camera (カメラを有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • SD Card Read Only (SD カードは読み取り専用) • Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブの落下保護を有効にする) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Enable Media Card (メディアカードを有効にする) • Disable Media Card (メディアカードを無効にする) <p>① メモ: すべてのデバイスがデフォルトで有効に設定されています。</p>

ビデオ画面オプション

オプション	説明
LCD Brightness	電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。


① | メモ: ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ画面オプション

オプション	説明
Admin Password	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>① メモ: システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定する必要があります。管理者パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。</p> <p>① メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
System Password	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>① メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Internal HDD-0 Password	<p>システムの内蔵ハードディスクのパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Strong Password	<p>常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されていません。</p> <p>① メモ: Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、管理者パスワードとシステムパスワードを大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字含む、8 文字以上の長さにしなければなりません。</p>
Password Configuration	<p>管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。</p>
Password Bypass	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> Reboot bypass (再起動のスキップ) デフォルト設定 : Disabled (無効)
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。 デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する) が選択されています。
Non-Admin Setup Changes	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。
UEFI Capsule Firmware Update	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで無効に設定されています。
TPM 1.2 Security	POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> TPM On (TPM オン) (デフォルトで有効) Clear (クリア) 有効なコマンドの PPI をスキップ 無効なコマンドの PPI をスキップ 無効 有効
Computrace	オプションである Computrace ソフトウェアをアクティブまたは無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> Deactivate (非アクティブ) Disable (無効) Activate (アクティブ) <p>ⓘ メモ: Activate (アクティブ) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的にアクティブまたは無効にしません。その後の変更はできません。</p> デフォルト設定 : Deactivate (非アクティブ)
CPU XD Support	プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。 Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) (デフォルト)
OROM Keyboard Access	起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Enable (有効) One Time Enable (1回のみ有効) Disable (無効) デフォルト設定 : Enable (有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。 デフォルト設定 : Enable Admin Setup Lockout (Admin セットアップロックアウトを有効にする) は選択されていません。

安全起動画面のオプション

オプション	説明
Secure Boot Enable	<p>このオプションは、安全起動機能を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Enabled (有効) <p>デフォルト設定 : Enabled (有効)</p>
Expert Key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none">• PK• KEK• db• dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none">• Save to File (ファイルに保存) — ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。• Replace from File (ファイルから置き換え) — 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。• Append from File (ファイルから追加) — ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。• Delete (削除) — 選択したキーを削除します。• Reset All Keys (すべてのキーをリセット) — デフォルト設定にリセットします。• Delete All Keys (すべてのキーを削除) — すべてのキーを削除します。 <p> メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>

Intel Software Guard Extensions 画面オプション

オプション	説明
Intel SGX Enable	<p>このフィールドは、メイン OS のコンテキストでコードを実行したり、機密情報を保管したりするためのセキュアな環境を設定します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Enabled (有効) <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>
Enclave Memory Size	<p>このオプションで、SGX Enclave Reserve メモリサイズ を設定します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 32 MB• 64 MB• 128 MB

パフォーマンス画面のオプション

オプション	説明
Multi Core Support	<p>このフィールドは、プロセスが1つまたはすべてのコアを有効にするかどうかを指定します。コアを追加することで一部のアプリケーションのパフォーマンスが向上します。このオプションは、デフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートの有効または無効にすることができます。取り付けられているプロセッサはまたは4つのコアをサポートします。マルチコアサポートを有効にした場合は、または4つのコアが有効になります。マルチコアサポートを無効にした場合は、1つのコアが有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Multi Core Support (マルチコアサポートを有効にする) <p>デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。</p>
Intel SpeedStep	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) <p>デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。</p>
C-States Control	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• C States <p>デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。</p>
Intel TurboBoost	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) <p>デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Enabled (有効) <p>デフォルト設定：Enabled (有効)</p>

電力管理画面のオプション

オプション	説明
AC Behavior	<p>AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。</p>
Auto On Time	<p>コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Every Day (毎日)• Weekdays (平日)• Select Days (選択した日)

オプション

説明

デフォルト設定 : Disabled (無効)

USB Wake Support USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。

メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモード中に AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートからの電力を移します。

- Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)

デフォルト設定 : オプションは無効に設定されています。

Wireless Radio Control

物理的な接続に頼ることなく、ネットワークを有線または無線に自動的に切り替える機能を有効または無効にすることができます。

- Control WLAN Radio (WLAN 無線のコントロール)
- Control WWAN Radio (WWAN 無線のコントロール)

デフォルト設定 : オプションは無効に設定されています。

Wake on LAN/WLAN

LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。

- Disabled (無効)
- LAN Only (LAN のみ)
- WLAN Only (WLAN のみ)
- LAN or WLAN (LAN または WLAN)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Block Sleep

このオプションでは、オペレーティングシステムの環境でスリープ (S3 状態) に入るのをブロックします。

Block Sleep (S3 状態)

デフォルト設定 : オプションは無効に設定されています。

Peak Shift

このオプションでは、1日のピーク時の AC 消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると AC が搭載されていてもバッテリーでのみ作動します。

Dock Support on Battery

このオプションで、AC 電源が存在している場合にドッキングステーションを使用できますが、バッテリーが特定の充電割合を超過している場合に限りです。割合は、バッテリーおよびプラットフォームごとに変わる場合があります。

- Dock Support on Battery (バッテリーでドッキングサポート)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Advanced Battery Charge Configuration

このオプションでは、バッテリーの性能を最大限に高めることができます。標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を最大限に高めます。

Disabled (無効)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Primary Battery Charge Configuration

バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは以下のとおりです。

- 適応
- 標準 – 標準速度でバッテリーをフル充電します。

オプション

説明

- 高速充電 - デルの高速充電テクノロジーを使用してより短い時間でバッテリーを充電します。このオプションは、デフォルトで有効に設定されています。
- Primarily AC use (主に AC を使用)
- カスタム

Custom Charge(カスタム充電)が選択されている場合は、Custom Charge Start(カスタム充電開始)と Custom Charge Stop(カスタム充電停止)も設定できます。

メモ: すべての充電モードがすべてのバッテリーに使用できるわけではありません。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration (アドバンスバッテリー充電設定) オプションを無効にします。

POST 動作画面のオプション

オプション

説明

Adapter Warnings

特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。

デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)

Keypad (Embedded)

内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。

- Fn Key Only (Fn キーのみ) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- By Numlock (Numlock を使用)

メモ: セットアップの起動中は、このオプションの影響はありません。セットアップは、Fn Key Only (Fn キーのみ) モードで動作します。

Mouse/Touchpad

マウスとタッチパッドからの入力をシステムがどう処理するかを定義することができます。オプションは以下のとおりです。

- Serial Mouse (シリアルマウス)
- PS2 Mouse (PS2 マウス)
- Touchpad/PS-2 Mouse (タッチパッド /PS-2 マウス) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

Numlock Enable

コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。

Enable Network (ネットワークを有効にする) このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

Fn Key Emulation

<Scroll Lock> キーを使用して、<Fn> キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。

Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする) (デフォルト)

Fn Lock Options

ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準およびセカンダリ機能の間で切り替えることができます。このオプションを無効にする場合は、キーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。

- Fn Lock (Fn ロック) このオプションはデフォルトで選択されています。
- ロックモード無効 / 標準
- ロックモード有効 / セカンダリ

MEBx Hotkey

システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。

デフォルト設定 : Enable MEBx Hotkey (MEBx ホットキーを有効にする)

オプション	説明
Fastboot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> Minimal (最小) Thorough (完全)(デフォルト) Autoz (自動)
Extended BIOS POST Time	ブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0 秒 このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 5 秒 10 秒

仮想化サポート画面のオプション

オプション	説明
Virtualization (バーチャライゼーション)	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。 Enable Intel Virtualization Technology (インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーを有効にする)(デフォルト)。
VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT)	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。 Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレス画面オプション

オプション	説明
Wireless Switch	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> WWAN GPS (WWAN モジュール) WLAN/WiGig Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>メモ: WLAN および WiGig は一緒に有効または無効にできますが、個別に有効または無効にすることはできません。</p>
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> WWAN/GPS WLAN/WiGig Bluetooth

オプション	説明
	すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス画面のオプション

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
BIOS Downgrade	ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。
Data Wipe	このフィールドで、ユーザーはすべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去することができます。以下は影響を受けるデバイスのリストです。 <ul style="list-style-type: none"> Internal HDD (内蔵 H D D) Internal SSD (内蔵 S D D) Internal mSATA (内蔵 mSATA) Internal eMMC <p>⚠ 警告: このオプションを選択するとデータが永久的に失われ、このアクションを取り消すことはできません。</p>
BIOS Recovery	このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。 <ul style="list-style-type: none"> ハードドライブからの BIOS のリカバリ (デフォルトで有効)

システムログ画面のオプション

オプション	説明
BIOS Events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

システム基板の交換時や、アップデートが可能な場合は、BIOS (セットアップユーティリティ) をアップデートすることが推奨されています。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

① **メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS のアップデート前に BitLocker を一時停止して、BIOS アップデートの完了後に再び有効にする必要があります。

- 1 コンピュータを再起動します。
- 2 [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
 - サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
 - **Detect Product (製品を検出)** をクリックし、画面の指示に従います。
- 3 サービスタグの検索または検出ができない場合は、**Choose from all products (すべての製品から選択)** をクリックします。
- 4 リストから **Products (製品)** カテゴリを選択します。

① **メモ:** 製品ページに到達するための該当カテゴリを選択します。

- 5 お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
- 6 **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**Drivers and Downloads (ドライバとダウンロード)** をクリックします。
Drivers and Downloads (ドライバとダウンロード) セクションが開きます。
- 7 **Find it myself (自分で検索)** をクリックします。
- 8 **BIOS** をクリックして、BIOS のバージョンを表示します。
- 9 最新の BIOS ファイルを選択し、**Download (ダウンロード)** をクリックします。
- 10 **ダウンロード方法を以下から選択してください** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
- 11 ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
- 12 **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

① **メモ:** BIOS バージョンをアップデートする際は、3 つのリビジョンを超えないようにすることが推奨されています。例：BIOS を 1.0 から 7.0 にアップデートする場合は、まずバージョン 4.0 をインストールしてからバージョン 7.0 をインストールします。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

パスワードの種類 説明

システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

△ **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

① **メモ:** システムパスワードおよびセットアップパスワードの機能は無効になっています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステムパスワードを割り当てることができます。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

- 1 **システム BIOS** 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**セキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
セキュリティ画面が表示されます。
- 2 **システムパスワード**を選択し、**新しいパスワード**を入力フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、(") (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) () (`)
- 3 **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- 4 <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- 5 <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更



既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に **Password Status** (パスワードステータス) がロック解除 (システムセットアップで) になっていることを確認します。**Password Status** (パスワードステータス) がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

- 1 **システム BIOS** 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
- 2 **システムセキュリティ**画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
- 3 **System Password** (システムパスワード) を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
- 4 **Setup Password** (セットアップパスワード) を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
① メモ: システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
- 5 <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- 6 <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。
コンピュータが再起動します。

技術仕様

① **メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細：

- Windows 10 の場合は、**スタート**  > **設定** > **システム** > **バージョン情報** の順にクリックまたはタップします。
- Windows 8.1 および Windows 8 の場合は、チャームサイドバーから**設定** > **PC の設定変更**をクリックまたはタップします。**PC 設定**ウィンドウで、**PC とデバイス** > **PC 情報**を選択します。
- Windows 7 の場合は、**スタート**  をクリックして**マイコンピュータ**を右クリックし、**プロパティ**を選択します。

トピック：

- システム仕様
- プロセッサの仕様
- メモリの仕様
- ストレージの仕様
- オーディオの仕様
- ビデオの仕様
- カメラの仕様
- 通信の仕様
- ポートおよびコネクタの仕様
- 非接触型スマートカードの仕様
- ディスプレイの仕様
- キーボードの仕様
- タッチパッドの仕様
- バッテリーの仕様
- AC アダプタの仕様
- 物理的仕様
- 環境仕様

システム仕様

機能	仕様
チップセット	Intel 第 6 世代プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 128 Mbits
PCIe バス	100 MHz
外付けバスの周波数	PCIe Gen3 (8 GT/ 秒)

プロセッサの仕様

特長	仕様
タイプ	第 6 世代インテル Core i7 プロセッサ (最大), U および H、ULT デュアルコア
L3 キャッシュ	
i3 シリーズ	3 MB
i5 シリーズ	<ul style="list-style-type: none">• vPro 非対応 — 6 MB• vPro — 8 MB
i7 シリーズ	<ul style="list-style-type: none">• vPro — 8 MB

メモリの仕様

機能	仕様
メモリコネクタ	<ul style="list-style-type: none">• 内蔵グラフィックス (インテル第 6 世代 U タイププロセッサ) – DIMM スロット (2)• 専用グラフィックス (インテル第 6 世代 U タイププロセッサ) – DIMM スロット (1)• 専用および内蔵グラフィックス (インテル第 6 世代 H タイププロセッサ) – DIMM スロット (2)
メモリ容量	4 GB、8 GB、および 16 GB
メモリのタイプ	DDR4 SDRAM
速度	2133 MHz
最小メモリ	4 GB
最大メモリ	16 GB

ストレージの仕様

機能	仕様
HDD	最大 1 TB
SSD 2.5 インチ	最大 512 GB
SSD M.2 SATA / PCIe	最大 512 GB

オーディオの仕様

特長	仕様
タイプ	HD オーディオ
コントローラ	Realtek ALC3235
ステレオ変換	HDMI からのデジタルオーディオ出力 - 最大で 7.1 圧縮および非圧縮オーディオ
内部インターフェース	HD オーディオコーデック

特長	仕様
外部インターフェース	ステレオヘッドセット / マイクコンボ
スピーカー	2 台
アンプ内蔵スピーカー	2 W (RMS) / チャンネル
ボリュームコントロール	ホットキー


ビデオの仕様

機能	仕様
タイプ	システム基板に内蔵、ハードウェア加速
UMA コントローラ	Intel HD グラフィックス 530 (クアッドコア) AMD Radeon R7M370
データバス	内蔵ビデオ
外部ディスプレイサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 19 ピン HDMI コネクタ • 15 ピン VGA コネクタ

カメラの仕様

機能	仕様
カメラ解像度	0.92 メガピクセル
HD パネルの解像度	1366 1377 x 768 ピクセル
FHD パネルの解像度	1920 x 1080 ピクセル
HD パネルのビデオ解像度 (最大)	1366 x 768 ピクセル
FHD パネルのビデオ解像度 (最大)	1920 x 1080 ピクセル
対角視野角	74°

通信の仕様

機能	仕様
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45)
ワイヤレス	内蔵 WLAN (ワイヤレス LAN), WWAN (ワイヤレス WAN), WiGi (ワイヤレスギガビット)
	 メモ: WWAN および WiGi はオプションです。

ポートおよびコネクタの仕様

特長	仕様
オーディオ	ステレオヘッドセット / マイクコンボ

特長	仕様
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> 19ピン HDMI コネクタ (1) 15ピン VGA コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ (1)
USB	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0 ポート (2) PowerShare 機能付き USB 3.0 (1)
メモ리카ードリーダー	SD4.0 まで
micro-SIM (uSIM) カード	外付け (オプション) (1)
ドッキングポート	1回

非接触型スマートカードの仕様

機能	仕様
サポートされるスマートカード/テクノロジー	USH 付き BTO

ディスプレイの仕様

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> タッチ非対応 FHD アンチグレア HD アンチグレア
高さ	205.6 mm (8.09 インチ)
幅	320.9 mm (12.63 インチ)
対角線	355.6 mm (14 インチ)
有効領域 (X/Y)	
タッチ非対応 FHD アンチグレア :	
最大解像度	1920 x 1080
最大輝度	300 ニット
リフレッシュレート	60 Hz
最大視野角 (横)	80/80
最大視野角 (縦)	80/80
ピクセルピッチ	0.161 mm (0.006 インチ)
タッチ対応 FHD アンチグレア :	

機能	仕様
最大解像度	1920 x 1080
最大輝度	270 ニット
リフレッシュレート	60 Hz
最大視野角 (横)	80/80
最大視野角 (縦)	80/80
ピクセルピッチ	0.161 mm (0.006 インチ)
HD アンチグレア :	
最大解像度	1366 x 768
最大輝度	200 ニット
リフレッシュレート	60 Hz
最大視野角 (横)	40/40
最大視野角 (縦)	+10/-30
ピクセルピッチ	0.2265 mm (0.009 インチ)

キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> • 米国 : 82 キー • イギリス : 83 キー • 日本 : 86 キー • ブラジル : 84 キー

タッチパッドの仕様

特長	仕様
動作領域 :	
X 軸	99.50 mm
Y 軸	53.00 mm

バッテリーの仕様

特長	仕様
タイプ	47 Whr (3 セル) (デュアルコア) 62 Whr (4 セル) (クアッドコア)
奥行き	177.50 mm (6.98 インチ) 233.00 mm (9.17 インチ)

特長	仕様
高さ	7.05 mm (0.27 インチ) 7.05 mm (0.27 インチ)
幅	94.80 mm(3.73 インチ) 94.80 mm (3.73 インチ)
重量	265 g (0.58 ポンド) 340 g (0.75 ポンド)
電圧	11.1 V DC 7.4 V DC
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)
温度範囲	
動作時	<ul style="list-style-type: none"> 充電時 : 0°C ~ 50°C 放電時 : 0°C ~ 70°C 動作時 : 0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)
非動作時	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
コイン型電池	3 V CR2032 リチウムコイン型セル

AC アダプタの仕様

機能	仕様
タイプ	65 W
入力電圧	100 ~ 240 V AC
入力電流 (最大)	1.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A
定格出力電圧	19.5 +/- 1.0 V DC
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲 (非動作時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

物理的仕様

特長	仕様
前面の高さ (タッチスクリーンなし)	23.3 mm (0.9 インチ)
前面の高さ (タッチスクリーンあり)	24.53 mm (0.97 インチ)

特長	仕様
背面の高さ (タッチスクリーンなし)	23.95 mm (0.94 インチ)
背面の高さ (タッチスクリーンあり)	25.35 mm (0.99 インチ)
幅	334.9 mm (13.2 インチ)
奥行き	231.1 mm (9.1 インチ)
重量	1.76 kg (3.88 ポンド)

環境仕様

温度	仕様
動作時	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)
ストレージ	-40 ~ 65°C (-40 ~ 149°F)
相対湿度(最大)	仕様
動作時	10% ~ 90% (結露しないこと)
ストレージ	5% ~ 95% (結露しないこと)
高度 (最大)	仕様
動作時	0 ~ 3,048 m (0 ~ 10,000 フィート)
非動作時	0 ~ 10,668 m (0 ~ 35,000 フィート)
空気汚染物質レベル	G1 (ISA-71.04-1985 の定義による)

診断

コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

トピック：

- ePSA (強化された起動前システム アセスメント) 診断
- デバイスステータスライト
- バッテリーステータスライト

ePSA (強化された起動前システム アセスメント) 診断

ePSA (別名システム診断) では、ハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスやデバイス グループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

△ 注意: システム診断プログラムは、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラー メッセージが発生する場合があります。

① メモ: 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

次の 2 つの方法で ePSA 診断を起動することができます。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 コンピューターが起動し、Dell のロゴが表示されたら <F12> キーを押します。
- 3 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
[強化された起動前システム アセスメント] ウィンドウが表示され、コンピューター内で検出されたすべてのデバイスが一覧で表示されます。診断プログラムが検出されたすべてのデバイスのテストを開始します。
- 4 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
- 5 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行** をクリックします。
- 6 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードをメモしてデルに連絡してください。



OR

- 1 コンピューターをシャットダウンします。
- 2 電源ボタンを押しながら、<fn> キーを長押ししてから両方のボタンを放します。
[強化された起動前システム アセスメント] ウィンドウが表示され、コンピューター内で検出されたすべてのデバイスが一覧で表示されます。診断プログラムが検出されたすべてのデバイスのテストを開始します。

- 3 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
[**強化された起動前システム アセスメント**] ウィンドウが表示され、コンピューター内で検出されたすべてのデバイスが一覧で表示されます。診断プログラムが検出されたすべてのデバイスのテストを開始します。
- 4 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
- 5 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行** をクリックします。
- 6 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

デバイスステータスライト

表 2. デバイスステータスライト

アイコン	名前	説明
	電源ステータスライト	コンピューターに電源を入れると点灯し、コンピューターが省電力モードの場合は点滅します。
	バッテリー充電インジケータ	点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。

デバイスステータス LED は通常、キーボードの上面または左側にあります。ストレージ、バッテリー、およびワイヤレスデバイスの接続状態と動作を示します。この他に、システムに問題が発生している可能性があるときの診断ツールとして役立ちます。

① **メモ:** 電源ステータスライトの位置はシステムによって異なる場合があります。

以下の表は、潜在的なエラーが生じた場合の LED コードの判読方法を示したものです。

表 3. バッテリー充電 LED インジケータ

橙色の点滅パターン	問題の内容	推奨される処置
2,1	CPU	CPU の障害です
2,2	システム基板 : BIOS ROM	システム基板、BIOS の破損または ROM エラーです
2,3	メモリ	メモリ/RAM が検出されませんでした
2,4	メモリ	メモリ/ RAM の障害です
2,5	メモリ	無効なメモリが取り付けられています
2,6	システム基板 : チップセット	システム基板 / チップセットのエラーです
2,7	LCD	システム基板を交換します
3,1	RTC 電源障害	CMOS バッテリーの障害です
3,2	PCI/ ビデオ	PCI またはビデオカード / チップの障害です
3,3	BIOS リカバリ 1	リカバリイメージが見つかりません
3,4	BIOS リカバリ 2	検出されたリカバリイメージは無効です

点滅パターンは、2 つ数字のセットで構成されます (最初のグループ : 橙色で点滅、2 番目のグループ : 白色で点滅) 。

① **メモ:**

- 1 最初のグループ : LED が 1.5 秒の間隔で 1 回 ~ 9 回点滅して、短く消灯します。(橙色)
- 2 2 番目のグループ : LED が 1.5 秒の間隔で 1 回 ~ 9 回点滅して、長めに消灯してから次のサイクルが再び始まります。(白色)

例：No Memory detected (2,3) (メモリが検出されませんでした (2, 3))。橙色のバッテリー LED が 2 回点滅した後に、白色のバッテリー LED が 3 回点滅します。その後、3 秒消灯してから、同じパターンが繰り返されます。

バッテリーステータスライト

コンピュータがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

- | | |
|---------------------------|---|
| オレンジと白の LED が交互に点滅 | 使用しているノートパソコンに、認証されていない、またはサポートされていないデル製以外の AC アダプタが接続されています。問題が再発する場合は、バッテリーコネクタのプラグを差し込み直すか、バッテリーを交換してください。 |
| 白の LED が点灯したままの状態 | 使用されている AC アダプタで一時的なバッテリー障害が発生しています。問題が再発する場合は、バッテリーコネクタのプラグを差し込み直すか、バッテリーを交換してください。 |
| オレンジの LED が点滅し続ける | 使用されている AC アダプタで致命的な障害が発生しています。バッテリーに致命的な障害が発生しています。バッテリーを交換してください。 |
| 消灯 | 使用されている AC アダプタで、バッテリーが完全充電モードになっています。 |
| 白い LED が点灯 | 使用されている AC アダプタで、バッテリーが充電モードになっています。 |

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。